

1 研究題目

大腸悪性腫瘍における患者因子、疾患因子、治療の効果・安全性、臨床病理学的な特性等と予後に関する研究 せとうち大腸がん登録

2 研究の対象

組織学的に大腸悪性腫瘍と診断され治療を受けた全症例

3 研究目的

大腸悪性腫瘍治療方針は多様化しており、正確な治療方針を構築するにはこれまでの治療方法を網羅的に解析するビックデータを用いた前向き研究が不可欠である。岡山大学病院および関連施設共通のデータベースを構築し、その解析により医学研究や社会に還元可能な大腸悪性腫瘍関連疫学情報を得、将来的には地域共通の大規模大腸悪性腫瘍登録システムおよびデータベースの構築を目的とする。岡山大学病院が提携するREDCapを用いて共通の大腸悪性腫瘍登録システムを構築し各施設の診療録を用いてデータを登録する。

4 研究期間

研究倫理委員会承認後 ～ 2031年12月31日

5 研究に用いる試料・情報の種類

患者基本情報(性別、生年月日、身長体重、BMI、初診日、診断確定日、入退院日、手術日など)、病歴(既往歴、家族歴など)、診察所見、血液や組織の検査結果、内視鏡やCT、MRI、PETなどの検査データ、手術情報、治療内容、経過

6 研究責任者

医師 岡野 由佳